

次世代に向けた 「道徳教育」の パースペクティブ

学校における「道徳教育」の「課題」と「現状」
次世代へ向けての方向性と「提案」



東京学芸大学

先端教育人材育成推進機構

上廣道徳・倫理教育研究開発推進室

開会行事

佐々木幸寿 先端教育人材育成推進機構長



配布物

- レジюме 3種
- 質問用紙
- アンケート



現状と展望

鹿毛 雅治 慶應義塾大学教授

長谷川真里 東北大学教育学部教授

頼住 光子 駒澤大学仏教学部教授



休憩

14:55再開
(15分間)



シンポジウム

シンポジスト

鹿毛 雅治 慶應義塾大学教授
長谷川真里 東北大学教育学部教授
頼住 光子 駒澤大学仏教学部教授

コーディネーター

澤田浩一 齋藤嘉則
國學院大學文学部教授 東京学芸大学教授



シンポジウム

- (i) 「現状と展望」補足説明
- (ii) 論点について意見交換
- (iii) フロアからの質問に回答
- (iv) まとめ

「特別の教科 道徳」の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。



道徳教育の目標

道徳教育や体験活動，多様な表現や鑑賞の活動等を通して，豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。

学校における道徳教育は，特別の教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり，道徳科はもとより，各教科，総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて，生徒の発達段階を考慮して，適切な指導を行うこと。



道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とすること。



道徳教育の目標

道徳教育を進めるに当たっては、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓ひらく主体性のある日本人の育成に資することとなるよう特に留意すること。



閉会行事

永田繁雄 上廣道德・倫理教育研究開発推進室長



アンケート

- 今後のシンポジウムで取り上げてほしいことなどがありましたらご自由にお書きください。
- 受付に用紙をご提出ください。

